

いいむれっ子だより 4月号



さあ始まりました

校長 友生 雅夫

令和7年度がスタートし、2週間が過ぎました。子どもたちもそれぞれ進級し、「やるぞ」という思いが伝わってきます。例年より少し長く桜の花を楽しむことができ、癒される日々が続きました。今は、校門近くのツルコザクラが色鮮やかに咲いています。学校周辺のお茶の葉も輝いています。過ごしやすい季節になり、わたし自身の気も引き締まる日々です。

3月に3人の先生方を送り出し、寂しい気持ちでいしましたが、新年度になり、5名の先生方が飯牟礼小に赴任して来られました。今年は、複式学級がなくなり、職員も2名増えました。また、児童数も、85名となり、昨年より9名増えました。少子化で児童数も減少する学校が多い中で、児童数が増えているのはありがたいことです。特認校制度を利用して本校に来ている児童も1年生に新たに3名入学してきました。飯牟礼の特色を生かしながら、飯牟礼だからこそできる体験を十分にしたいと思います。

本校は、「豊かな心と学ぶ意欲をもち、心身ともにたくましい児童を育てる」教育目標にしています。キャッチフレーズを「笑顔であいさつ 体をきたえる 飯牟礼小学校」と下線部を変更しました。まずは、「おはようございます」の元気なあいさつで気持ちを明るくできたらと考えます。そして、体を自ら鍛え、心身を充実した状態にしていきたいと思います。

めざす子供像の、

「思いやりの心をもち、友達と協力できる心豊かな子ども」では、友達のいい所を認める、自分のいい所に気づく子どもに育てたいと思います。お互いの頑張りを認め、褒めることで子どもは自信がもてるようになります。そこで、自己肯定感は育まれます。家庭でも頑張っていることは認めて褒めてください。子どもたちはそれを望んでいます。

「目標をもち、意欲的に進んで学習する子ども」では、

子どもたちは、授業の終わりで学習を振り返るようにしています。「何が分かったか」、「頑張ったか」などを考えることで、自分が学習をとおしてどれくらい成長したか感じるができます。成長しつつあります。今年意識して欲しいのは、ペア、グループ学習などの場面で相手の考えや説明を聞くだけでなく、「〇〇についてもう少し説明して」とか「〇〇までは説明できるけど、この後は誰か説明して」などみんなで協力しながら深まりのある授業を作りたいと考えます。指導の仕方をすが、改善していきたいです。

「粘り強く、最後までがんばる子ども」では、

一校一運動の「なわ跳び」でいろいろな技に挑戦させたり、チャレンジかごしまの「長縄エイトマン」などにも挑戦させたいです。継続することと記録に挑戦することは簡単ではありませんが、挑戦させたいです。

1年後、子どもたちはどのように成長しているでしょうか。子どもたちの姿を想像しながら頑張っていきたいと思います。保護者、地域の方々、今年も飯牟礼小学校にお力をお貸しください。ご協力よろしくお願いいたします。